

農業経営改善計画認定申請書記入例

目標とする営農類型（下記以外でもよい）

- ・フェニックス・ロベレニー専業
- ・レザーファン専業
- ・球根切花（施設）+ ルスカス
- ・球根切花（施設）+ 球根切花（露地）
- ・球根切花（露地）+ 球根
- ・観葉鉢物+ フェニックス・ロベレニー
- ・あしたば+ フェニックス・ロベレニー
- ・酪農+ あしたば

経営改善の方向概要

- ・現在、露地のロベ切葉を生産している。今後はロベの施設栽培を導入して、葉先切り作業の省力化と品質の向上を図り、所得向上を目指す。
- ・現在、レザーとロベ切葉を中心に生産している。今後はレザーの施設を増やし、レザー専門にして、作業の効率化を図り、労働時間の短縮と所得向上を目指す。
- ・現在、レザーを中心に生産している。規模拡大のために、レザーに比べ管理作業に手間のかからないルスカスを導入し、労働時間の短縮と年所得向上を目指す。
- ・フリージア球根を主体とした生産を行ってきた。今後はフリージア切花の島内販売を増やしていきたい。施設利用の促成栽培も導入し、所得向上を目指す。
- ・現在、ロベ鉢物を主体に生産してきた。今後は、温室を増やし、ケンチャヤシ、高性チャメ等の観葉鉢物を導入し、所得向上を目指す。
- ・現在、あしたば（加工）を主体にした経営を行っているが、傾斜地が多く作業性が悪い。運搬車やモノレールを導入して省力化を図り、労働時間の短縮と所得向上を目指す。
- ・現在、妻と二人でロベ切葉（露地）を生産しているが、来年長男が経営に参画する予定なので、施設切葉を導入していきたい。妻は主要な農作業からはずし、ゆとりのある生活と所得向上を目指す。

生産方式の合理化の目標

作物・部門別の合理化の目標

作物・部門名	現 状	目標（５年後）
口べ切葉（露地）	風や塩で葉先が傷みやすい	防風ネットで周りを囲む 防風林を設置する
	出荷調整作業に労力がかかる	施設化にする 条件のよい畑を取得する
	出荷作業、流通に手間や経費がかかる	共撰出荷にする
	病害虫の発生が多く品質が落ちる	適宜防除を徹底する
レザー切葉（施設）	病害虫の発生が多く、防除が大変	省力防除機を導入する
	管理作業で腰痛になりやすい	ベンチ栽培を導入する
	冬季に収量が少ない	加温栽培を導入する
	夏季は施設内が高温になりやすい	天窓をつける・遮光資材を活用する
フリージア（球根）	病気がでやすい	土壌消毒・適宜防除を徹底する
	球根の掘取り、調整作業に労力がかかる	大型トラクター、乾燥施設を導入する
あしたば	収穫作業に労力がかかる	運搬車の導入
	夏季に収穫量が少ない	遮光栽培を導入する
	種子の確保に苦労する	種子とり用畑の管理を徹底する
観葉鉢物	施設が劣化し、修理代がかかる	施設の改善
	冬季に寒さで傷みやすい	ボイラーの導入
	品目が多く管理が雑になる	少品目多量生産に切り換える

経営管理の合理化の目標

現 状	目 標
簿記記帳をしていないので、経営の状況がしっかり把握できていない	複式簿記記帳の実施により、経営と家計を分離する
雇用労働力を活用しているが、人事管理ができていない	法人化して、雇用労働力の確保と有効利用を図る
経営戦略に必要な市場動向等の情報が十分に入手できない	各種の情報収集システムを有効利用する

農業従事の態様等の改善目標

現 状	目 標
特に休みを決めていないので、生活にメリハリがない	休日制を導入する

目標を達成するためにとるべき措置

農地の集積	・本認定制度を活用して、条件のよい農地を農業委員会より斡旋してもらう
規模拡大	・補助事業を活用して施設をふやす ・低金利資金を活用して、農地を取得する
生産方式の合理化	・口べの施設化により、品質向上と調整作業の省力化を図る ・かん水や薬剤散布を自動化し、省力化を図る ・大型トラクターを導入し、球根掘取り作業の改善を図る ・傾斜地作業に運搬車を導入し、あしたば収穫作業の改善を図る ・保冷库を導入し、切花の出荷調整や品質向上を図る ・球根冷蔵により、フリージア切花の出荷時期を拡大する
経営管理の合理化	・パソコンやファックスを導入し、経営経理に活用する ・農繁期に臨時雇用を活用する ・農業簿記講習会に出席し、複式簿記を習得する
制度資金の活用	予定年度 <input type="text" value="平成"/> 年度 予定額 <input type="text" value=""/> 円 資金の使い道：